

1. 施設の概要等

施設の名称	あおぞら工房謙訪		担当課	社会福祉課障がい福祉係
所在地	諫訪市湖岸通り5-8-8		開設年月日	平成17年4月1日
施設設置目的	主として精神に障害を持つ人に対して、就労に向けた訓練や生産活動の機会を提供し、自立と社会復帰を支援する。			
施設内容	木造1階建て 延べ面積: 284.85m ² 作業室・調理室・集会室・相談室・静養室ほか			
指定管理者	社会福祉法人 この街福祉会		選定方法	(公募)(応募者数1)・非公募
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)(4年目)			
指定管理者の主な業務	<input type="checkbox"/> 就労機会・生産活動その他の活動の機会の提供 <input type="checkbox"/> 就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練 <input type="checkbox"/> 施設・機械設備、駐車場等敷地内の維持管理			

利用料金制の導入	(有)	無	指定管理料	有	(無)
指標 (単位)	利用目標	利用実績	前年度実績	対目標比(%)	対前年比(%)
1日平均利用者数(人)	14	13.1	13.4	0.9	1.0
【特記事項】登録者数、延べ利用者数は若干の減だが、延べ就労時間数は若干の増となっている。					

収支	指定管理者収支(令和6年度)		市の収支			
	計画額		収支実績額			
	項目	金額(円)	項目	金額(円)		
収入	就労事業収入	3,175,000	就労事業収入	3,637,634		
	訓練等給付費	25,500,000	訓練等給付費	24,833,085		
	利用者負担金	90,000	利用者負担金	69,608		
	寄付金		寄付金			
	その他	51,000	その他	2,114,990		
	計	28,816,000	計	30,655,317		
支出	就労事業支出	3,541,000	就労事業支出	3,418,293		
	人件費	18,623,000	人件費	18,755,676		
	事務費	1,890,000	事務費	1,657,415		
	事業費	2,212,000	事業費	2,223,303		
	会計間繰出金	1,840,000	会計間繰出金	2,335,927		
	雑損失		雑損失			
	積立金	320,000	積立金	330,765		
	その他		その他			
	計	28,426,000	計	28,721,379		
	損益	390,000	差引	1,933,938		

2. 指定管理者及び(市施設所管課)による評価…別紙

3. 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和6年4月～令和7年3月
	調査対象	その期間に通所している利用者
	調査方法	個別面談によるアンケート及び聞き取り調査
調査結果	調査実施利用者数23人 回答者23人(回答率100% アンケートは年2回実施) 回答者属性 ○性別 男性13人(57%) 女性10人(43%) ○年齢別 20代:3人 30代:3人 40代:6人 50代:9人 60代:3人 利用者の評価 ○あおぞら通所目的:生活リズムを整える等11人、仕事・工賃11人、対人関係改善等2人 ○職員との対話「話を聞いてくれる、話せる」23人(100%) ○卒業後目標:「一般就労等」8人、「独暮らし」2人、「無、わからない」14人 抱ね現状に満足を感じているが、就労のステップアップには少し消極的な傾向有 ○あおぞら工房に通うまでの困難こと、悩み 体調・精神状態への不安、独暮らし、金銭面の不安、人間関係 ○将来の就労への意識 「就労(A型又は一般)を目指す」35% 「今ま、現状維持」61% ○施設への要望 令和6年度は大きな苦情・要望等は無。	
利用者からの意見要望・苦情等		

4. 指定管理者による自己評価

平成6年度の自己評価	□クッキー・焼菓子の製造に欠かせないオーブンの経年劣化が懸念されていたが、市より1台更新いただいて安定した製造に大いに貢献しており感謝申し上げる。 □1日平均利用者は131人で昨年比2.2%減であった。令和6年末現在の利用登録者も減となつたが、個人の就労時間数の増加を図り全体で約9,473時間で昨年比4%増となつた。給付費は令和6年度報酬改定により単位数が増となり、昨年比2.2%増の24,833千円であった。就労収入は主に謙訪赤十字病院での販売再開により、昨年比14.4%増の約3,637千円。平均工賃は昨年比1.362円増の15,738円であった。 □退所者5名の内訳は、A型事業所への移籍2名、他のB型事業所への移籍2名、自宅療養1名であった。
	□クッキー・焼菓子・布製品等安定した製造販売ができるよう、利用者の指導も丁寧に進めるとともに、新商品の開発にも積極的に取り組む。 □イベント系販売への積極的参加とともに、店頭販売、注文販売等多様な販売形態についてPRを進める。 □希望者の多い部品組立等企業からの請負業務の安定化した受注に努める。 □工賃の向上だけでなく、B型事業所として利用者個々の特性を理解し、一人一人に寄り添った支援ができるよう、職員が共通認識をもって支援にあたる。
今後の目標	□クッキー・焼菓子・布製品等安定した製造販売ができるよう、利用者の指導も丁寧に進めるとともに、新商品の開発にも積極的に取り組む。 □イベント系販売への積極的参加とともに、店頭販売、注文販売等多様な販売形態についてPRを進める。 □希望者の多い部品組立等企業からの請負業務の安定化した受注に努める。 □工賃の向上だけでなく、B型事業所として利用者個々の特性を理解し、一人一人に寄り添った支援ができるよう、職員が共通認識をもって支援にあたる。

5. 市(施設所管課)による総合評価

総合評価の基準

A(1.0) 36項目評価が72点以上で、アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容も評価できる。

B(O.8) 36項目評価が58点以上で、アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容も評価できる。

C(O.5) 36項目評価が45点以上で、アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容も評価できる。

D(O.2) アンケート調査、セルフモニタリングの方法自体に改善を必要とするところがある。

E(O.0) アンケート調査等が実施されていないなどの基本的な問題がある。

	配点	評価	合計点数	
			点数	10
			合計点数	82.6

判断の基準

80点以上	「優良」
65点以上80点未満	「良」
50点以上65点未満	「標準」
50点未満	「不可」※

※「不可」の場合は、指定管理者の取り消しの処分を含め早急な改善対応を検討する必要があります。

また、「優良」の場合は、施設所管課と制度主幹課で再確認作業を行うこととします。

判断結果

優良

令和6年度 指定管理者モニタリング評価表

(別紙)

2. 指定管理者及び市(施設所管課)による評価

※施設の目的に沿って評価項目の追加・削除をすることができる。

※施設の目的に沿って評価項目の配点に重み付けを行うことができる。

評価項目			評価				評価に対する説明	
大項目	中項目	小項目	配点	指定管理者	市			
				評価区分	評価区分	乗率	点数	
1 管理能力	適切な管理運営	市の方針、施設の設置目的、業務等を的確に理解した管理運営はされているか。 公共の仕事という倫理性や法令遵守について認識し、対応しているか。	3 2	B B	B B	0.8 0.8	2.4 1.6	
	市民の平等利用	正当な理由なく、一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか。 事業内容に偏りがあり、利用者が限られていることはないか。	1 1	B B	B B	0.8 0.8	0.8 0.8	
	適切な組織・体制	職員体制や人員配置は適正であるか。	2	B	B	0.8	1.6	
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか。	3	B	B	0.8	2.4	
		労働関係法令等を遵守した労務管理規定等を整備し、従事者の適正な労働条件を確保しているか。	3	B	B	0.8	2.4	R6年度途中から事務員が他の事業所と兼務となった。当初職員間に不安が広まつたが落ち着いてきている。
	職員研修・人材育成	職員研修や業務指導に関し、適切に実施されているか。	3	A	A	1.0	3.0	事業所内で独自にBCPの確認研修実施、虐待防止研修に取り組んだ。
	安全対策・緊急時対応	事故や災害等の緊急時のマニュアルが整備され、連絡体制が確立しているか。	3	B	B	0.8	2.4	緊急時の情報伝達のためのLINE WORKSの試行・導入に取組んだ。
		利用者の安全確保に対する研修・訓練等を実施し、職員が内容を熟知しているか。	3	B	B	0.8	2.4	9月の防災(避難)訓練に代わり、AEDの取扱い実地訓練を職員及び有志の利用者にも実施。
		施錠・警備等の防犯体制は適切であるか。	2	B	B	0.8	1.6	
	個人情報及び秘密の保護	個人情報及び職員が業務上知り得た秘密について、職員への指導の徹底と対策が講じられているか。	4	B	B	0.8	3.2	
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表できる体制が整っているか	2	B	B	0.8	1.6	
2 施設の運営	経理及び事務処理等	専用の口座、経理帳簿や台帳を整備し、適切に経理事務が行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		現金管理の方法は適切であるか。	2	B	B	0.8	1.6	
	団体の経営状況	業務日誌、各種報告書を適切に作成・整備し、遅延なく市に提出されているか。	3	B	B	0.8	2.4	譲訪市への毎月の業務報告について、重複内容を精査し、提出書類の簡素化を図った。
		団体の経営状況は安定しているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	事業運営	事業計画書に基づき、適切に事業が実行されているか。	3	B	B	0.8	2.4	
		事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか。	2	A	B	0.8	1.6	継続してきた近隣ホテルでの委託販売が大幅に拡大、市売店再開に際して参加した委託販売も好調を維持している。
	施設の維持管理	仕様書等に基づき、清掃、警備、衛生の点検・管理が適切に行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		仕様書等に基づき、施設、設備の点検・管理が適切に行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	再委託業務	利用に支障をきたすような状況を放置せず、適切に修繕が行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		再委託されている業務の範囲・理由等は適切であり、かつ委託先の業務を適切に管理しているか。	0	B	B	0.8	0.0	
	備品の維持管理	備品台帳に基づき備品を適切に管理され、その機能が失われていないか。	2	B	B	0.8	1.6	
	利用状況	利用者数、稼働率が設定した目標に対して適正な水準であるか。	3	A	B	0.8	2.4	延べ利用者数(日数)及び1日平均利用者数は、R5より若干の減少となつたが、利用時間数は増加し、工賃総額も増額となった。
		施設の利用促進に努めているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	利用者のサービス	利用者へのサービス向上に努めているか。	4	B	B	0.8	3.2	
		障がい者等への配慮	5	B	B	0.8	4.0	
	要望・苦情等への対応	障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか。	3	B	B	0.8	2.4	
		利用者アンケートが適切に実施されており、要望・苦情等に適切に対応しているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われ、改善に結びつける方策がとられているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	環境への配慮	省エネ等環境負荷の軽減や周辺環境に配慮するとともに、廃棄物は適切に処理されているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		地域の住民や関係団体等との連携に積極的に取り組んでいるか。	3	B	B	0.8	2.4	地元湖柳町区の行事には積極的に参加するとともに、聖母幼稚園中心のクリスマスマーケットにも継続参加。
	地域連携・地域貢献	市内事業者の活用、市内の雇用など地域への貢献への配慮がされているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		施設の設置目的に沿って自主事業を実施し、サービス水準の向上に寄与しているか。	3	A	B	0.8	2.4	R6年度は、コロナ禍で中止されていた譲訪赤十字病院での定期販売の再開に取組み、7月から再開となり成果を上げることができた。
	自主事業	事業計画書に基づき、経費節減や業務効率化が実行されているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	収支・決算	予算に従い適切に執行されており、収支予算書と比較して収支状況が適切であるか。	3	B	B	0.8	2.4	
		計	90			72.6		

評価の基準

- A (1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる
- B (0.8) 協定書、仕様書、事業計画書等に基づき適切に実施されており、問題は見られない
- C (0.5) 協定書、仕様書、事業計画書等に基づき概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分が確認されたが、既に改善済みである。
- D (0.2) 協定書、仕様書、事業計画書等に基づき概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分が確認されたが、現在改善に向け対応中で、近日中に改善される見込みである。
- E (0.0) 不適切な部分が確認されたので改善を指示したが、未対応又は改善の見込みがなく、指定管理者の取消の処分を検討する必要がある。

合計
72.6